

木造家屋建築工事における足場を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	16~17	建物の解体工事の現場（単管足場）で、足場の取り外し作業を行うため、足場に登り、移動する際、安全帯のかけかえを行うため、上段の足場に安全帯をかけようと、上段のパイプ位置を確認せずに、下を向いたまま感でこの辺りだろうと勢いよく立ち上がり、何も無いところにかけてしまったため、両手も手ばなしだったため、本人不注意により転落した（4~5m下）。	24~29	1
1	11~12	足場の解体作業中、クランプが弛んでいる事に気付かず、足元の単管がゆれて地面から2mの高さから落下し、左側腰・臀部をコンクリート面に打ちつけた。	74~79	10
1	12~13	先行足場組立作業中、体勢を崩して基礎方向に6コマ支柱ごと落下し、足から着地した。	41	—
1	13~14	木造住宅新築工事現場で下から2M位の所の外壁外ドウブチを打っていて、風にあおられバランスをくずし下に落ち、足をついたが、下に置いてあった足場の鋼管に右手を打ちつけた（足場の上から落ちた）。	40~49	1
1	15~16	解体工事現場で防音シートを外すため、足場に登り作業をしようとしたところ、足場の2段目に乗った際に誤って、足を滑らせてしまい落下し負傷した。	43	—
1	17~18	個人宅屋根修理現場において、作業現場の片づけをしている際、脚立2つの間に板を通し、その上に乗って屋根上の同僚から工具収納箱を受け取り、地面へ下ろそうとしたとき、バランスを崩し地面（コンクリート）へ飛び降りたが、着地の際に右足かかとを痛めた。	27~29	1
2	14~15	2階に上ろうとして昇降階段があったのだが、階段の無い所から登った。足場の建	20	—

		て地に手を掛けようとしたら、滑り、右手からつくように後から倒れた。		
2	16~17	工事中において、作業員2人で脚立の上に足場板を足場にして、多目的室の天井ボード貼り作業中、バランスを崩し足場から落下した。その時に自分が履いていた安全靴の靴紐を自分で踏んでしまい、転倒した時に右手を負傷した。	58	1 ~ 9
3	9~10	2階踊り場の手摺に足を掛け移動していた際、手摺を固定していたビスが折れ、手摺が外れ5mそのまま1階コンクリート地面に左半身から落下した。落下の際に左わきを殴打して肋骨を骨折し、腰袋に入れてあったドリルの鉄鋼キリが背中に当たり負傷した。	46	1 ~ 9
3	15~16	木造建物内の改造作業において、ヘルメットをかぶり、木材にて天井下地組み工程で天井を吊り、吊木を固定する作業を行う為の足場としてアルミ脚立（1.7m）を床の左右に設置し、その間（高さ約1.5m）位置に（巾2.4cm厚さ3.6mm、長さ2.7m）の板を渡し足場とし、床上3mより少し高い位置の梁に吊木の上部をビスで固定をしようと、身体を伸ばした瞬間、腰に差すような激痛（椎間板ヘルニア）の症状を感じてバランスを失い、足場から左足を踏み外し肩から転落し、肩を脱臼する。	66	1 ~ 9
3	11~12	高さ1.5mの位置に足場を組み、外部軒天張り作業をしていた際、仕上げ材の板が無垢のため板の反りがあり、実が小穴に入らずこじ入れていたところ、桁より垂らしてあった門柱に体重が掛かり、門柱が外れ、足場上よりコンクリートの土間に落下し、左肩・肘・腰を負傷した。	62	1 ~ 9
3	17~18	分譲地にて新築工事の外部1階の軒天の墨打ち作業中、足場上を左に移動した際に左足を踏み外し、足場上で転倒し、左肩を足場に強打し、左肩の筋を断裂した。	68	1 ~ 9
3	8~9	外部南側壁塗り作業時、前日の雨天で足元が滑りやすくなっている足場上高さ1.1mより足を滑らせ転落し、コンクリート土間に左ひじを強打した。	34	10 ~ 29
4	10~ 11	屋根修繕工事（工務店元請け）現場内において、屋根修理のため足場を登っていたところ誤って足を滑らし、地面（約3M50下）に転落した、庭にあったブロックに右胸及び肩、腰などを打った。	60	1 ~ 9

4	10～ 11	雨樋工事中に2階の足場から1階の足場へ降りる時、1階の足場が狭くなっていてそれに気付かず落下し、手すりに右脇をぶつけ右肋骨3ヶ所ひびと骨折を負った。	56	1 ～ 9
4	13～ 14	建築現場で玄関天井クロス施工中、バランスを崩して右手首を手の甲から壁に押しような形でひねり負傷した。	44	10 ～ 29
4	10～ 11	倉庫内で解体（倉庫）作業中、足場から転落した。	38	1 ～ 9
4	13～ 14	カーポートの屋根を施工の現場において、脚立を2本立てた足場上の作業中にバランスをくずして転落し、頭部と左腕のひじを裂傷する。	63	1 ～ 9
4	16～ 17	平屋建て車庫の外壁の杉板を貼り替え作業中において、屋根上に置いてあった釘板を取ろうとした際に脚立足場から足を踏み外し、約1.8m下に転落し左手首を骨折した。	34	10 ～ 29
4	16～ 17	木造平屋建て約149㎡を建前中105cm巾の梁を治め束を治める時、梁の横に足場板36×240cm2枚引き足場板と梁の上を歩き束を治めている時、足を滑らせ約3M下に落下し、肩・胸・腰・足4ヶ所を骨折した。	67	1 ～ 9
4	16～ 17	外部足場で外壁下地防水シートを張っていたとき、足場の内側に落ちた。落ちた時は誰も見ていなかった。	56	1 ～ 9
4	14～ 15	新築工事現場に於いて、足場の一部を取り外していた際に、足場が外れた反動で高さ約4mから転落した。	33	1 ～ 9
5	9～ 10	事務所左側面に通路（木造）屋根軒板取付時に、6尺脚立（2台を両脇に設置し、アルミ足場板をゴムバンドで緊結）上に乗し、コンパネ材を持ち屋根に持ち上げた際にバランスを崩し、後方に尻もちをつくようにして落ち、後頭部（ヘルメット着	77	1 ～ 9

		用)を地面にぶつけ、くも膜下出血および頭蓋骨ひび割れとなった。		
5	9~ 10	個人宅の屋根塗装工事で大屋根の唐草部分の塗装のため、下屋根にかけた足場が上がって作業中、誤って下屋根に滑り落ち、左肩などを負傷した。躯体と足場との間に墜落したとのことである。	45	1 ~ 9
5	16~ 17	外壁交換工事の現場で4段組の足場(くさび緊結式足場)において、2段目より3段目に壁材を移動する際に体のバランスを崩し2.5m程落下した。(足場手摺り有、安全保護帽未着用)	49	1 ~ 9
5	9~ 10	軒天を張り替えるため足場を上っていて、1段部で足を滑らせて落下し、足場1段目高さ1.8mの場所から落ちた。	28	1 ~ 9
5	10~ 11	新築足場解体で足場を解体している時、1.5mのパイプを仮置きした際に単管が落下し、下にいた作業員の右手に当たった。	18	1 ~ 9
6	16~ 17	個人宅新築工事にて足場解体中、バランスを崩し、足場の階段(高さ約1m60cm)から落下し、負傷した。	43	1 ~ 9
6	17~ 18	住宅新築現場にて、1.7mの足場の上で屋根工事の作業中、足場の横パイプにぶつかりバランスを崩し、落下した際に右踵を骨折した。	59	1 ~ 9
6	15~ 16	解体工事中、2階の土間を研る作業をしている時に、2階の土間が落下し、その下敷きになった。	57	10 ~ 29
6	9~ 10	玄関ホール先部にて屋根上に上がろうとした際、誤って足を滑らせ、バランスを崩し、急いで板金端部を掴んだところ、右手人差し指を切創したものである。	18	1 ~ 9
6	11~ 12	建物外周部にブルーシートを張る作業中、足場踏み板から足を踏み外し、躯体と足場内側に落下した。	69	1 ~

				9
6	9~10	新築工事現場にて、安全ヘルメット及び安全靴を着用し、建物裏の外壁塗装の作業中、一昨日夜の雨で濡れていた足場で足を滑らし、安全ネットをすり抜けて地上3mから滑り落ち、隣接する境界法面で左足ふくらはぎを負傷した。	31	1~9
7	8~9	リフォーム工事現場で窓枠交換作業をしていた。片手に工具を持って窓枠に手をかけたところ、朝つゆで足場が濡れていたため、すべって約1.5m下に落下。足場の一番下のパイプに跨いで落ち負傷した。	61	1~9
7	9~10	敷地内にて枠組足場上で（地上からの高さ1.8m）目地の作業中、足を滑らせてしまい、足場から落下し、地面に左手首を強打した。その際、安全帯は、使用していなかった。左手首骨折と診断された。	20	1~9
7	9~10	建物外側の窓ガラス清掃しようと脚立（7尺）の5段目にいた時、脚立の足の部分が沈んで傾き、そのまま一緒に倒れた。左膝を傷めた。	25	10~29
7	16~17	現場で地上から足場に移動する時、材料（瓦5kg）を運ぶ作業中、地上から高さ1メートルの足場に足をかける時に足が滑り、背骨を骨折した。	47	50~99
7	8~9	共同住宅新築工事において、2階床部の梁材を設置した後、1階へ足場から降りようとした際、足場の縦棒に掴まろうとして掴み損なってしまい、後ろ向きに降り始めていたため、そのまま後ろ向きに転落し、後頭部及び右大腿骨辺りを打撲し、負傷したものの。	30	50~99
7	14~15	新築工事現場にて、建方作業中、雨養生のために屋根上に揚げようと、畳んだ状態のブルーシート1枚（40cm×70cm×高さ10cm、重さ15.6kg）を、体の前で水平にして、結束しているPPバンド2本を両手で1本ずつ掴み、更に右手にはインパクトドライバの充電電池を掴んで、足場作業床（土間からの高さ3.5m）を移動していた。移動中、ブルーシートで足元が見えなかったため、右足を踏み外してしまい、咄嗟に右手で足場を掴むも、ブルーシートが重く、手を離してしまい、土間まで転落、左手から着地した。国籍：フィリピン	26	1~9

7	13~14	新築工事現場にて、建方作業中、足場作業床3層目（地上からの高さ4.36m）で透湿シートを建物壁面に両手を伸ばして貼りながら、東から西に向かって移動していた。上部の壁面を見ながら移動していたため、作業床の切れ目に気が付かず、81cm下のバルコニー床まで転落した。転落の際、足場のブラケットに背中をぶつけた。	26	1 ~ 9
7	11~12	底上の足場組をしていた。その下でも足場のアンチを納めている最中、そのアンチに乗ったため、アンチが外れ、2m下に落下した。この時、両足の踵を負傷した。	62	1 ~ 9
7	11~12	塗装工事現場で、足場が切れている所に足を掛けて踏みはずし転落した。その際、側溝に落ちて左足かかとを負傷した。	47	1 ~ 9
7	13~14	被災者等が2台の脚立を使って地上1.4mに足場板を置き、その上で作業していた。2人が中央に寄ったために重みで足場板が折れ、地面に落下した際に工事途中の配管に左足の踵を打ち付けた。	66	1 ~ 9
7	14~15	倉庫外壁修繕工事作業中、トタン打ちをしていて、乗っていた脚立（高さ約2m）からバランスを崩して飛び降りた際、着地時に左足を負傷した。	62	1 ~ 9
7	11~12	新築先行足場架け現場で、高さ約6mの位置でメッシュシートを貼っているとき、安全帯を使用せず、手摺りに足を掛けて作業した際、足を滑らせて墜落した。	27	1 ~ 9
7	16~17	足場の解体作業時に、足場を解体していたところ（地上高さ約5m）、足場のパイプを取り外そうとした。このときに、足場の悪い場所での作業のため、足場から墜落した。	42	10 ~ 29
7	11~12	外部塗装工事中、作業スペースが狭かったため、飛散防止ネットにもたれて作業していたとき、飛散防止ネットを留めてあったロープが破損して、1階の足場より転落し負傷した。	57	1 ~ 9
		増改築工事のために、内部床・天井・壁等の解体撤去作業中、作業終了時に2階床梁		1

7	13～ 14	の足場板（400×3.5×20cm、ベニヤ板）の固定ビスを外して1階に下ろす作業をしていたとき、足場板に乗り、別の足場板を取ろうとしたときに、乗っていた足場板が梁から外れ、1階土間に落下し（約3m高）、左肩・首等を打撲負傷した。	66	～ 9
9	14～ 15	木造平屋建て内部ステージ足場（2段）上で、移動中に足場布板につまずき床板と本梁のすき間から落下し、土間コンクリートに落ち左肩と胸部を骨折した。丸柱と中梁は集成材で、サンダー掛け仕上げを行う為、その時はネットが張られていなかった。	63	～ 29
9	15～ 16	地内に於いて、住宅解体工事作業現場内で、がれきを片付作業中ビケ足場高さ68cmの横棒を跨いで通り抜けようとした、片方の足がひっかかり床コンクリートの上に左肩から転倒し負傷した。	54	～ 29
9	16～ 17	被災者当社従業員は、工事現場において、地上3mの足場上で外壁に防水シートを貼る作業をしていた。左に移動する際に、誤って、足場がない箇所に足を出してしまい、地面に落下し負傷した。	57	～ 9
9	11～ 12	新築住宅の組立工事で、1階玄関の壁パネルを立てる作業中、足場の上からパネルを支え次のパネルを待っていた所バランスを崩し、約2m下の土間コンクリートの上に落下した。	46	～ 9
9	9～ 10	外部改修工事の現場において。外壁塗装作業中に、1階屋根上に設置した仮設足場上で、2階屋根下の破風板の塗装作業中に、仮設足場の歩行用板上を移動中に足を滑らせて、落下防止養生ネットのつなぎ目より結束紐が切れて落下した。約2m下の1階屋根の上に転落し、左肩腕・脇胸・腹を強打し、左側肋骨2本骨折・左肩・腕打撲、左肘裂傷等のケガをした。	45	～ 29
9	11～ 12	足場の上で養生作業中、足場板を一枚外していたところ、足場の一段目から転落し骨折した。	46	～ 9
9	9～ 10	外部足場の第1床で、外壁モルタル塗りの作業中、片手にバケツを持ち昇降設備を使用せず支柱を伝って地面に移動しようとした、その際に足を滑らせて右腕で身体を支え転落は免れたが、その時に肩を負傷したが、痛みを我慢できる程度であった為、作業を続け、元請の監督には報告せずいた。その後、右肩腱板断裂と診断さ	50 51	～ 99

		れた。		
9	15～ 16	担当者は災害当日、新築工事（85.00㎡、最高4.8M）施行中、作業点検のため見回り中、足場の作業床の上にあったボルトに足で踏み滑り、転倒し、床に墜落し負傷した。	69	1～ 9
10	8～9	2階の本棚の中を塗ろうとした際、脚立から足を滑らせ、脚立と一緒に倒れて床に肘をついたところに脇腹が乗った状態になったと思われる。痛みはあったものの1日作業を終え、翌日になっても痛みが治まらなかった。骨折が判明した。	65	10～ 29
10	15～ 16	農業用倉庫新築工事現場において、両手に資材を持ちながら歩いていたところ、足が滑り足場のパイプに胸を強打した。	67	1～ 9
10	16～ 17	建売新築工事現場で台風の接近に伴う足場の養生シートを畳む作業をしていたところ、1階中段、足場板から足を滑らせて落下し、直ぐ下の足場に膝を突き怪我を負ったもの。	52	1～ 9
10	9～ 10	新築工事の建方作業中にて、足場に上がる際、D階段を使わずに近くにあった手摺を掴み、足場に上がろうとしたら、手すりを掴んでいた手が滑ってしまい転落。丁度落ちた所に角材が置いてあり、そこに背中が当たり負傷した。	36	1～ 9
10	9～ 10	台風21号により脱落した観音堂屋根のメッシュシート張を復旧作業中に誤って転落。	18	1～ 9
10	15～ 16	店舗の天井壁紙張り替え施工時に、六尺脚立を2本使用し、五段目に足場板を敷き、脚立に安全帯をかけて施工中にバランスを崩し上部から落下した。安全帯とともに脚立も転倒し脚立で頭を打ち、左足から落下し、左足脱臼粉碎骨折した。	43	10～ 29
11	10～ 11	住宅建設現場にて、建築工事の躯体組み中、枠組み足場の階段上での安全帯の不使用と予測出来ない事態により、足場の階段上から転落した。	56	1～ 9
11	9～ 10	高さ1.8mの脚立を並べ二段目に足場板をゴムバンドで固定をし、その上に乗り梁を上げる作業をしていた。その作業を終えて降りる際に、誤って足を踏み外して転倒	71	1～



		した。		9
11	13～ 14	個人宅建築現場にて、強風のため、高さ2m弱の足場の上で外壁のタフシートの補強作業を行っていた。作業中、降雨のため、濡れた足場の段差に足を滑らせてしまった。単管を掴もうとしたが、掴むことが出来ず、回りながら肩から落ち転倒した。ヘルメットは着用していたが、落ちる際にずれ、左前側頭部を負傷した。検査の結果、左前側頭部を骨折していた。	65	1 ～ 9
11	15～ 16	元請事業主の倉庫内で部材の片付作業をしていた際、部材（柱）を立て掛けようとしたところ、先に立て掛けていた柱が倒れて来て、右手を挟み親指を裂傷した。	21	1 ～ 9
11	11～ 12	個人宅新築工事現場にて、軒天のボード貼りをしていた。足場が雨で濡れている状態での作業であったため、足を滑らせてしまい躯体との隙間（約40	63	1 ～ 9
11	16～ 17	屋根の修繕工事で平屋建て家屋屋根の漆喰ラバー打ちを終わり、地上へ降りる時、足場に掛けたブラケットを使用して降りる最中にブラケットから足を踏み外し、地上より1m20cm位の高さより転落して右腕を地面に強打し右肘を骨折した。	23	10 ～ 29
11	13～ 14	個人宅新築工事において、基礎打設工事の為、コンクリート圧送車を使用していたところ、圧送車のアームが足場に触れ、その衝撃で足場の一部が落下し、作業員の太ももに当たり負傷したものである。なお、現場は勾配があり、道路より下での作業であった為、圧送車のアームを足場の上へ伸ばし、ホースを下へ垂らしながらの作業であった。	33	1 ～ 9
11	16～ 17	家屋の新築工事現場で、足場の組み立てをしている所、誤って足場の踏み板を踏み外してしまい約5m下の隣地の犬走りに墜落し、各部位を骨折した。	21	1 ～ 9
11	9～ 10	建築新築工事現場の2階部屋内の準耐火間仕切りの石膏ボード貼り作業を行っていた。脚立に足場板を取り付け、その上で上部電気配線を避けながら、足場板上を横移動していたところ、ビス打ち機のエアーホースに足が絡まった。その際、バランスを崩して床上に転落し、首左側を間仕切りの土台に打ち付け被災した。	60	10 ～ 29

11	12~13	原因は、足場ブラケットのボルト部の劣化による破断である。ブラケット足場上で躯体コンクリート打設の作業後、安全帯を外し、次の施工場所へ移動しようとして片付けをしていた際、ブラケット足場のクランプのボルトが破断し、足場布板と共に3.7mの高さから落下した。背中の中椎付近から落下した。	44	10~29
11	8~9	一戸建て住宅建設現場にて上棟作業を開始した際、大工が外部足場上で、木材を大ハンマーで打ち込む準備をしていたところ、バランスを崩して転落しそうになった。結果、自身の判断で1.8m下の1階床に飛び降りたところ、着地には成功したが、衝撃が両足に走り、診断の結果骨折が判明した。	39	1~9
12	9~10	新築工事現場において、強風で外れたシートを張り直す作業をしていたとき、シートの上で滑って転んでしまい、その際に90cmほどの高さの足場に右脇を強打した。その日は痛みを我慢して仕事をしたが、翌日も痛みが治まらなかったため病院を受診した。	62	1~9
12	11~12	脚立と脚立との間に足場をかけ、天井貼り工事中、足を踏み外し、玄関の床の段差の角に胸をぶつけ負傷したものである。	64	1~9
12	14~15	コンクリート造り倉庫解体作業中、壁が予想外のタイミングで倒れてきて、被災者は逃げようと1.8m高の足場（ローリングタワー）から飛び降りた際、右足首を骨折してしまった。	45	50~99
12	16~17	屋根の塗装作業終了後、足場を踏み外して後ろ向きで落下し（高さ3m）、負傷した。	48	10~29
12	16~17	新築工事現場において、鋸を打とうと思い、高さ3m50cmの足場の上を移動していて、足を踏み外して転落した。	52	1~9
12	13~14	自動車整備工場新築工事において、足場上で屋根材をトラックから運ぶ作業中に、手元に集中していたため道板の隙間に右足を落としてしまい負傷した。	66	1~9

12	15~16	新築工事現場で、外壁の筋交いの取り付けが終わり、脚立から下りた際に足場から足を踏み外し、1階へ落下した。その際に右足指を3本骨折し、倒れたときに額を木くずで切った。	1 56 ~ 9
----	-------	--	-------------------

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)